

関西から
文化力
POWER OF CULTURE



台湾平埔族のものがたり

歴史の流れと生活文化の記憶

2014(平成26)年
10月8日(水)~12月8日(月)

会場：3階企画展示室

世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <http://www.sankokan.jp/>

開館時間：9:30~16:30(入館は16:00まで)
休館日：毎週火曜日(ただし11月25日は開館)
入館料：大人400円 団体300円(20名以上)
小・中学生200円(学校単位の団体無料・要事前申込)

後援：奈良県天理市/奈良県教育委員会/天理市教育委員会/産経新聞奈良支局
共同通信社/NHK奈良放送局/台北駐大阪経済文化弁事処/公益財団法人交流協会

天理大学附属
天理参考館
携帯サイト
携帯電話のサイトから
情報をご覧頂けます

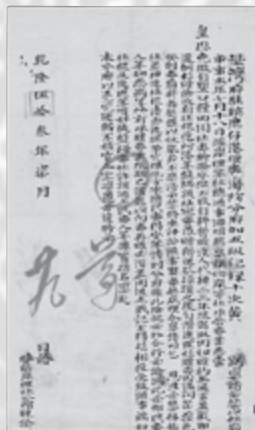


第73回企画展

へい ほ

台湾平埔族のものがたり

—歴史の流れと生活文化の記憶—



“岸裡文書”官方諭示 1788(乾隆53)年

“台湾平埔族”とは、古くから台湾西部の平野部に暮らしていた先住民族の総称です。彼らは17世紀後半より中国大陸から移住してきた漢民族の影響を受け、独自の言語や生活文化は大きく変容、または失うことになりました。

台湾では1980年代からの民主化に伴い、先住民族の伝統文化を保護するようになりました。平埔族の人びともわずかに残った彼ら特有の言語、習慣や生活文化の記憶を辿る“もの”を通して、自らのアイデンティティを探ろうとする動きを活発に行っています。

本展では絵図、古地図、古文書などから彼ら平埔族の歴史を振り返り、今では台湾現地の平埔族の人びとの実生活においても見ることが難しい、ありし日の生活用具や、衣装、織物などを紹介します。さらに近年の現地調査を踏まえ、今日の平埔族の人びとの姿にも迫ります。

台湾の平埔族の人びとが時代とともに紡ぎ出したものがたりをお楽しみ頂けたら幸いです。



潘士興画像



パゼツへ族男子礼装用の袖無し上衣



シラヤ族の裂布

背景・シラヤ族の剣帯に施された刺繍文様

●企画展講座

「台湾エスニックマイノリティーのいま

—台湾原住民族と平埔族—

講師：下村 作次郎氏(天理大学国際学部教授)

日時：11月16日(日) 13:30～

会場：研修室

定員：100名(当日先着順)

※「関西文化の日」につき入館無料

●トーク・サンコーカン(公開講演会)

「台湾平埔族パゼツへ族旧首長の盛衰と台中平野の歴史」

講師：早坂 文吉(当館学芸員)

日時：10月25日(土) 13:30～

会場：研修室

受講料：入館料のみで受講いただけます

●ギャラリートーク(展示解説)

日時：10月27日(月) 13:30～

11月26日(水) 13:30～

会場：3階企画展示室



太上龍頭忠義廟「頭社公廨」(台南市大内区)

シラヤ族の祭祀具「太祖媽座壺」

関西文化の日
11/15(土)・16(日)
入館無料!

◆次回の展覧会ご案内◆

2015年 新春展「縄文時代の天理-出土品で見る布留遺跡の縄文文化-」

2015(平成27)年1月5日(月)～3月2日(月)



J R・近鉄天理駅下車 東へ徒歩約20分
西名阪天理インターから南へ約3km(無料駐車場あり)
※期間により駐車場への入場・駐車が制限される場合があります。